

2014年モデルは、さまざまな走行シーンでの操りやすさを向上させることを目的として、圧倒的な軽快感を実現しました。2006年から2009年までCRF250Rで採用されたデュアルマフラーシステムを、さらに進化させた形での新たなスタイリングとしました。また、パワーユニットにも磨きをかけ戦闘力を飛躍的に向上させた新世代のモトクロッサーとして、ライダーの勝利へ大きく貢献できるマシンへと進化し、操る楽しさを表現することができたと確信しています。

開発コンセプトは

The Peak of Athlete ～アスリートの極致～

さまざまな走行シーンで自由に操れるモトクロッサー

シャーシ領域では

前輪の接地感と後輪のトラクション感を向上させ、ハンドリング性能を高次元で実現するため

- ・新設計の第6世代アルミツインチューブフレーム
 - ・縦・横の剛性を変更した新設計スイングアーム
 - ・排気系、冷却系と電装部品のレイアウト変更で徹底したマス集中
- を柱として開発しました。

高いマス集中効果を得るためにデュアルマフラーシステムと組み合わせて設計したフレームは、同時に軽量・コンパクトが一目で感じられる新世代のモトクロススタイリングを実現しました。